



2023年3月3日  
株式会社 阿波銀行

社会福祉法人十字会の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、社会福祉法人十字会（理事長 加藤 和輝、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	社会福祉法人十字会
所在地	徳島県三好郡東みよし町加茂 1454 番地
代表者	加藤 和輝
業種	社会福祉事業
設立	1964 年 11 月 6 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2023年3月3日



## 社会福祉法人十字会 理事長 加藤 和輝

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため、様々な地元人材の活用を推進します。	① 障がい者雇用・高齢者雇用・地元人材の積極的活用		
			② 年間2名以上採用		
社会	農福連携	持続可能な農業のため2022年に設立した「東みよし町農福連携コンソーシアム」の活性化を図り、耕作放棄地問題や障害者の就労支援に取組みます。	① 東みよし町・西部県民局・三好やまなみ会・JAと協力し、農業・福祉の連携を図り、障がい者の農業参画や6次産業化への取組みを促進		
			② 2030年までに農福連携によるブランド化、新商品の開発・販売		
社会・経済	働きがい	持続可能な事業活動の為の人材育成に取組みます。	① 資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備		
			② 2025年までに実施		
環境	環境への配慮	環境に配慮し、事業所内で利用するエネルギーの効率化を図ります。	① 事業所内のLED化、太陽光自家消費の実施		
			② 2025年までに導入		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。